

## 第3次行橋市男女共同参画プラン 前期の達成状況

第3次行橋市男女共同参画プランは、平成27年度から令和6年度を計画期間とする、市政あらゆる領域にわたる計画です。今年度は、計画の中間年に当たり、この5年間の各施策の進捗状況、成果と課題について各担当課にヒヤリングを行い、前期の成果と課題としてまとめました。

### ○計画の体系

《将来像》とともに支え 認め合い 誰もが活躍できるまち ゆくはし

を目指して、4つの基本目標を掲げて施策の展開を図ります。

基本目標	施策の基本的方向
I 互いに自立し支え合う社会づくり	1. ワーク・ライフ・バランスのとれる体制づくり 2. 男女共同参画の視点に立った労働条件の整備 (女性活躍推進計画) 3. 多様な人々への安全・安心な成果さの支援
II 一人ひとりが認め合い尊重しあう環境づくり	1. あらゆる人権侵害根絶への取り組み 2. DV対策の充実(行橋市DV防止基本計画) 3. 生涯を通じた健康づくりの推進
III あらゆる年代における男女共同参画の意識づくり	1. 男女共同参画に関する意識の構築 2. 男女共同参画教育の充実
IV だれもが平等に参画できるまちづくり	1. 地域社会における男女共同参画の促進 2. 政策方針決定過程への女性参画の拡充

## ■進捗状況の総括

各施策における平成31年度まで取組実施状況を、次の4段階で評価しました。

### 【取り組みごとの評価（達成度）の区分】

- A：90%以上（十分達成している）
- B：70%以上（ある程度達成しているが一部課題が残る）
- C：50%以上（達成が不十分であり改善を要する）
- D：50%未満（達成にはほど遠く見直しを要する）

### ■施策の進捗状況評価（一覧）

基本目標	基本的方向	計	A	B	C	D
I	1	5	3	2	0	0
	2	5	5	0	0	0
	3	5	1	4	0	0
II	1	3	1	0	2	0
	2	4	4	0	0	0
	3	1	1	0	0	0
III	1	5	2	2	1	0
	2	5	1	3	1	0
IV	1	4	1	2	1	0
	2	3	0	2	1	0
合計		40	19	15	6	0

全体ではA「十分達成している」が19件47.5%、B「ある程度達成しているが一部課題が残る」が15件37.5%、C「達成が不十分であり改善を要する」及びD「達成にはほど遠く見直しを要する」が6件15.0%となっています。

平成31年度は、計画の見直しに向けて「市民意識調査」を実施しました。また、市民への意識啓発に向けて「る～ぷるフェスタ」の開催、公民館や女性学級への出前講座などの活動や職員研修など市職員の意識啓発に取り組みました。

意識調査の結果やこれまで推進してきた計画の各施策の進捗状況から今後の課題を把握し、後期計画に反映していくことが重要であると考えます。

## 基本目標 1 互いに自立し支えあうまちづくり

誰もが自身の個性と能力を活かし、活躍できる社会の実現には、お互いに協力し、支え合う体制づくりが必要不可欠です。家庭生活、仕事、地域活動や個人の時間の両立を目指し、ワーク・ライフ・バランスの推進、子育て・介護支援の充実、労働環境の整備促進などを行います。また、高齢者や障がい者など、より困難な立場に置かれやすい人々への安全・安心な生活の支援を行います。

### ■進捗状況評価(達成状況)

評価	A	B	C	D
取組数	9	6	0	0
%	60.0	40.0	0.0	0.0

### ■取組の概要

#### 基本的方向1 ワークライフバランスの取れる体制づくり

- 事業者を対象にワーク・ライフ・バランスセミナーを、男性を対象に家事・育児参加講座を開催した。
- 市民大学講座や公民館講座開催し、市民の生涯学習活動の充実を図った。
- 子育て支援センターにおいてサークルの支援や子育て講座、育児相談を行った。
- 医療・福祉・介護の連携を図って介護支援体制の充実を図った。
- 男女共同参画センター主催の講座には、すべて無料の託児の配置を行った。
- 子育て支援センターで託児ボランティアへの支援を行い、乳幼児健診等へ託児ボランティアを配置した。

#### 【今後の課題】

- 啓発セミナーや講座開催の周知を図るとともに参加しやすい開催日や時間を工夫することが必要。

#### 基本的方向2 男女共同参画の視点に立った労働条件の整備

- 商工会議所等関係機関と連携して講座の開催やポスターの掲示を行った。
- 家族経営協定の締結に努めて、これまで5件成立した。今後も継続して家族経営協定の締結を促進していく。
- 雇用・労働相談窓口を設置して、相談や情報提供を行った。
- 福岡県女性再就職支援センター出張相談や福岡県との共催で子育て中の女性のための会社説明会を行った。
- 子育て女性の再就職に向けて資格取得のための支援講座を開催した。

#### 【今後の課題】

- 合同会社説明会、資格取得講座などについて、庁内各課と連携を図り、受講者増

を図ることが必要。

### **基本的方向3 多様な人々への安全・安心な生活の支援**

- 地域支援事業による高齢者の自立支援、緊急通報システムの整備支援、老人福祉電話の整備支援など実施した。
- 「地域福祉計画」第3期を策定し、高齢者、障がい者など地域住民の安全・安心な生活を支援するために民生委員の活動を支援した。
- ひとり親家庭の就労支援を行うとともに子ども支援課や県児童相談所などと連携し、必要に応じて適切な対応を行った。

#### **【今後の課題】**

- 今後は、各種サービスの周知を充実するとともに高齢者の生きがいづくりの支援が重要となる。
- 高齢者、障がい者、ひとり親家庭など多様な住民ニーズに対応する支援の充実を図るために、社会福祉協議会や県児童相談所など関係機関とのネットワークの拡充を図ることが必要。

## **基本目標2 一人ひとりが認め合い尊重しあう環境づくり**

男女共同参画社会の実現には、一人ひとりがお互いの人権を尊重し、認め合うことが重要です。ドメスティック・バイオレンス（DV）やセクシュアル・ハラスメントをはじめとする各種ハラスメントなどの人権侵害根絶に向け、人権教育・啓発の推進や相談体制の充実などに取り組みます。また、生涯を通じた健康支援により、心身ともに安心して暮らすことができる環境づくりを行います。

### **■進捗状況評価(達成状況)**

評価	A	B	C	D
取組数	6	0	2	0
%	75.0	0.0	25.0	0.0

### **■取組の概要**

#### **基本的方向1 あらゆる人権侵害根絶への取り組み**

- ハラスメント防止に関する記事を掲載した「人権リーフレット」を作成し、全戸配布した。また、記事を活用してチラシを作成し、研修や事業の際に資料として配布し意識啓発を図った。
- 事業所を対象とした人権研修を年2回開催し、今年1回目は80人程度の参加があった。セクハラ防止研修は1回実施した。
- 市職員向けにもハラスメント防止に関する研修を実施した。

○11月のDV防止月間に行橋警察署や関係各課とともに街頭啓発を行った。

#### 【今後の課題】

- 人権のテーマがさまざまあり、ハラスメントは1回の開催にとどまった。様々な機会をとらえて、チラシの配布等啓発活動を継続していくことが必要。
- 市職員について、ハラスメントに関する意識は年代によって差があり、今後は特に高齢層に向けての啓発が必要。
- 新たに福岡県性暴力根絶条例が施行されており、市民への周知が必要。

### 基本的方向2 DV対策の充実（行橋市DV防止基本計画）

- 中学生に向けて「デートDV防止」リーフレットを作成し、中学校で人権擁護委員が行う予防教室の資料として活用した。
- 相談員の資質向上のために、福岡県主催の研修会に参加した。また「相談員マニュアル」の改訂にも参加した。
- 関係各課に相談体制を整備しており、情報を共有し連携して被害者の支援に取り組んだ。
- 警察や福岡県女性相談所と緊密な連携を図って、被害者の緊急保護の措置を迅速に行うことが出来た。

#### 【今後の課題】

- 今後も、関係機関、庁内各課と緊密に連携をとりながら迅速で適切な対応を図る事が重要。
- 中学生向けに作成したリーフレットを活用し、今後も中学校でデートDVについて啓発を継続していくことが重要。

### 基本的方向3 生涯を通じた健康づくりの推進

- 乳幼児健診、発達相談、育児教室などによる疾病予防や早期発見、発達等子どもの健康づくりに取り組んだ。
- 特定健診やがん検診等の健診結果を活用し、生活習慣病を予防する保健指導を行った。
- 市民大学講座での健康問題についての講座を開催し、市民への啓発を行った。
- 各中学の保健の授業で性・薬物についての教育を行った。

#### 【今後の課題】

- 今後も特定健診等の受診率の向上に向けて事業を実施していく。

### 基本目標3 あらゆる年代における男女共同参画の意識づくり

固定的な性別役割分担意識を払拭し、多様な価値観や生き方が尊重されることが、様々な場における男女共同参画へとつながります。社会制度や慣行の見直しを進めるとともに、次世代を担う子どもたちが自身の可能性や関心にそった将来を選択できるよう、教育現場や生涯学習の場などで広報・啓発、また研修等を実施し、あらゆる年代において男女共同参画の意識づくりを推進します。

#### ■進捗状況評価(達成状況)

評価	A	B	C	D
取組数	3	5	2	0
%	30.0	50.0	20.0	0.0

#### ■取組の概要

##### 基本的方向1 男女共同参画に関する意識の浸透

- 平成27年度の「人権リーフレット」で男女共同参画について掲載し、市民への意識啓発を行った。毎年、取り上げる人権のテーマが変わるので毎年の掲載とはなっていない
- 市広報やホームページによる情報提供、啓発を常時行っている。男女共同参画月間（6月）には市報に男女共同参画に関する特集記事を掲載した。男女共同参画センター「る～ぷる通信」を年1回発行し、る～ぷるフェスタや各講座などの開催時に配布した。
- 毎年6月にる～ぷるフェスタを開催しており、平成30年度は延べ500人の参加があった。また、啓発用懸垂幕、旗を各公民館、ウイズゆくはし、コスメイト、市役所に1か月間設置した。
- る～ぷる主催講座のほかに、センター登録団体による出前講座や市民企画講座等を開催し、市民への啓発を行った。
- 市内事業者には、指名登録時に男女共同参画の推進状況を調査している。

##### 【今後の課題】

- 市内事業者へのアンケート調査については、10年を経過しており、内容やアンケート時期など検討していくことが必要。
- 公民館や女性学級の講座についても防災や女性リーダー育成などどういうテーマで開催していくのか、さらなる検討が必要。

## 基本的方向2 男女共同参画教育の充実

- 市主催の研修へ小・中学校、高校の教職員に参加してもらい、男女共同参画に関する児童生徒への意識啓発に向けて情報提供を行った。
- 学校へは各種のチラシを配布するなど情報提供を行っている。保育園は民営化されたため、独自の取り組みとなっている。

### 【今後の課題】

- 保育士への研修は実施していないため、今後は市主催の講座等について保育所、幼稚園にも情報提供を行うことが必要。
- PTA活動の勉強会などへ男女共同参画のテーマを紹介し、情報提供に努める。

## 基本目標4 誰もが平等に参画できるまちづくり

市政や地域活動など、様々な場において多様な視点や立場からの意見が反映されるように、政策・方針決定過程へ性別にかかわらず誰もが平等に参画できるまちづくりを目指します。指導的立場にある女性リーダーの育成や、地域・事業者などへの情報提供や啓発を通じた女性の登用促進に取り組みます。また、多様化するニーズを踏まえ、男女共同参画の視点を取り入れた防災体制の整備を行います。

### ■進捗状況評価(達成状況)

評価	A	B	C	D
取組数	1	4	2	0
%	14.3	57.1	28.6	0.0

### ■取組の概要

#### 基本的方向1 地域社会における男女共同参画の促進

- 平成30年に防災会議へ4名の女性委員を登用し、災害支援活動について女性の意見を反映した。(条例改正による女性委員の増)
- 市民からの依頼による応急手当講座の指導者として女性消防団員が活動した。女性消防団員は、現在14名程度で推移している。
- 男女共同参画センターの登録団体は11団体。市民企画講座の卒業生が新たに登録し活動している。
- 各校区の区長会議等機会を利用し、将来的に女性の区長が増えるよう人材育成と男女共同参画について啓発を行った。また、毎年開催される新任区長研修会において女性の参画について同様の啓発を継続している。

### 【今後の課題】

- 自治会の女性役員を増やすための効果的な取組みについて検討が必要。

### 基本的方向2 政策方針決定過程への女性参画の拡充

- 審議会の女性委員割合について、市全体平均では40%に達していない。委員改選時に1名でも女性が増えるよう、推薦団体等に働きかけを行った。
- 防災会議等条例を改正して女性委員を増やした事例もみられ、少しずつではあるが積極的な登用が見られるようになった。
- 「地域のリーダーを目指す女性応援研修」「日本女性会議」について平成28年度以降参加者がいない。福岡県主催の「女性のための災害対応力向上研修」には平成29年度以降3年間に31名の参加者があった。

### 【今後の課題】

- 40%に達していない審議会等に対して、改選時に人材バンクの活用を検討するなどの働きかけを行っていくことが重要。
- 福岡県などの研修への参加について、研修内容や助成制度の周知を継続して行っていく。
- 事業所への啓発については、男女共同参画センターと担当各課の連携により推進していくことが必要。

## ●目標指数の実績

指 標 名	単位	目 標	平成30年度実績
市の審議会等における女性委員の割合	%	40	24.7 (前年度 22.1%)
男女共同参画センター登録団体数	団体数	15	11 (前年度 11)
市職員のうち女性管理職の割合	%	15	11.9 (前年度 10.3%)

(実績はすべて平成31年4月1日現在)